

(株)シー・ティー・ワイ 令和元年度 第2回放送番組審議会 議事録

開催日 令和2年2月18日(火) 14:00～

場 所 CTY役員会議室

出席委員・・・伊藤八峯委員長・三輪秀孝副委員長・石井智光氏・松井真理子氏・森亜希子氏・
吉住友里氏・渡辺敏明氏

CTY・・・渡部一貴代表取締役社長・諸岡太次長・久志本和彦課長・瀬古朋可リーダー
松宮菜保子(文責)

CTY放送番組審議会規程に則り、令和元年度 第2回放送番組審議会を開催。

議事(議事次第に沿って進行)

1) 開会

※会議は公開とし、ケーブルNewsでの放送と、議事録をCTYのHPで公開することを事前に説明。

委員に了承頂く。

2) 渡部社長挨拶

シー・ティー・ワイは、今年の1月31日に開局30周年を迎えた。これも地域の皆様のご支援の賜物と感謝する。毎年行っている開局記念に合わせたプレゼント企画も例年以上に喜んでもらえるよう企画した。感謝イベントも予定している。開局20周年と同様に四日市ドームと新球場で10月24日(土)・25日(日)に開催予定。新型コロナウイルスの状況を見ながら、皆さんに楽しんでもらえる体制が揃えば行いたいと考えている。

月曜～金曜に放送しているCTY・CNSの看板番組「ケーブルNews」は2016年4月からCTY・CNS エリア(いなべ市・四日市市・鈴鹿市・菰野町・木曾岬町・桑名市長島町)だけでなく北勢地域のケーブル局と連携し、北勢地域9市町で放送していて、皆様に視聴していただいている手応えを感じている。また今年の新年には北勢9市町の首長が出演し抱負を語った番組を放送した。三重県北勢地域の生の声を直接聞くことができたのはとても良かったと、出演いただいた首長、行政関係者、視聴者から好評をもらった。また、三重県知事の新春対談の番組も好評だった。今後は非常時を想定して平常時から務めることはもちろん、お客様にとって「CTYで良かった」と言われるように取り組む。

今年は、世界最速のインターネットサービスの提供や、東京五輪を4Kテレビで視聴できる環境の整備などに力を入れていく1年だと思っている。今年も新しい事へのチャレンジをやめることなく進んでいきたい。

3) 審議

■新春特別番組「北勢9市町 首長が語る」

年頭の放送にあたり北勢市町の首長が出演し、念頭の挨拶、新年の展望、最優先に考える事業や取り組みについて語る番組。

出演者：四日市市長、桑名市長、いなべ市長、鈴鹿市長、木曾岬町長、菰野町長、川越町長、朝日町長、東員町長

放送日：2020年1月1日(祝)～5日(日)

番組尺：30分番組(各氏 約3分)

媒体：CTY・CNS 地上12ch、CTY-FM

<10分視聴後、質疑>

- ・市民に直接首長の指針などが伝わる。こういう機会でない市民に届けられる場がないのが現状。この番組は市民にとっても首長にとってもたいへんよい。
- ・9市町の首長の話を一度に聞けるのはおもしろい機会。
- ・他県から来た人も多い地域なので地理的な関係性もわかるよう全体の地図が欲しい。
- ・四日市市長がメインで話していた「総合計画」は、一般の方はよくわからない人がほとんどだと思うので、リージョンコア、子育てするなら四日市、など議会で決まって見せられるページを放送でのせてもよかったのでは。桑名市の駅前整備のイメージ図のように市長の顔だけではなく、もう少し資料映像があるとよりわかりやすい。
- ・オープニングのテロップやBGMは新年の華やかさが伝わってよかった。
- ・右肩にのっていたタイトルが背景と馴染んで見えなかったので文字の縁の色を変えてみては。
- ・四日市市の話で五輪や123周年については詳しく話していたが総合計画についても、もっと詳しく知りたかった。
- ・三重県には29市町あり人口的にも税収的にも三重県の半分ほどがこの9市町が締めているのではと感じているからこそ、その首長が語る内容は三重県全体にも影響してくる。今後9市町の首長と一緒にやる番組もあってもよい。
- ・企画自体がおもしろい。見逃して残念。市の取り組みがわかりやすく首長の口から説明されていてよかった。
- ・実際に「子育てするなら四日市」とはどういったことをするのか知りたかった。
- ・CTY側からもっと視聴者にわかりやすいよう「子育て問題」「高齢化社会」についてなどタイトルを決めて、返答を求める企画でもよかった。
- ・市民が首長の口から直接聞く機会は良い。ただ時間も限られているため早口で話すため、さらに詳しく聞きたいと感じる。次の企画をどうするか考えて欲しい。市の職員は嫌がるかと思うが、できれば首長が集まってパネルディスカッションを行い、各市町の良いところ、今後取り組みが見えるようにすることで、選挙の時に目を向けることに繋がるのでは。今後、こうした取り組みを活用して、CTYの番組を見てもらうことにも繋がるのでは。
- ・総体的な話だったので、例えば四日市市では新図書館の建設問題など、切り込んだ質問も入れてもよかった。

■ケーブル4K・郷土菜発見～大安桜米～

「ケーブル4K」とは、全国のケーブルテレビ局が制作した4K番組を統一編成した4K専門チャンネルで、全国71社が専門チャンネルとしてサービス提供している。先進的な全国各地のケーブル局が持ち回りで制作している様々な番組があり、「郷土菜発見」はそのうちの1つで、地域で大切に守られ育まれてきた伝統野菜や果物、魚介類、食材の特色や栽培の歴史、その食材を使った伝統料理などを紹介する番組。

CTYでは、三重県いなべ市大安町のブランド米「大安桜米(だいあんさくらまい)」を取り上げた。大安桜米は、古代米の一種で白米に混ぜることでほんのり桜色に炊きあがる。大安桜米が作られたきっかけや、大安町の歴史をさぐり、地域住民と大安桜米のつながりを伝える。

放送(15分番組)：ケーブル4K / CTY・CNS12ch 月曜・火曜 午後10時～ほか

<15分視聴後、質疑>

- ・聞いたことはあったが、番組を見て始めて知ったこともあり勉強になった。
- ・農業の担い手がおらず田んぼが荒地になっていく今日に、地区の人が桜米を作って小学校の子供も巻き込んでいて関心した。
- ・高柳地区の方が昔に思いを馳せて続けていることは立派なこと。子供たちもいきいきした顔で地域の取り組みと一緒に参加してくれている。歴史のあることは続けて行って欲しい
- ・CTYが地域の問題を深く検証していくことはよかった。
- ・4Kということで色がとても綺麗だった。地元で見る風景はいいなと感じた。
- ・1200年前から伝わっている米で、大安町が大安寺と関係していると初めて知った。知らないことを知らせてくれることはすごく良い番組だと思った。
- ・普段、車で移動することが多いので大安町があんなに綺麗な風景だったと知った。今度ゆっくり見てみたいと思った。
- ・テロップが細く肩書きが見にくかった。
- ・ナレーションが番組のテイストに対して重いと個人的に感じた。
- ・地元の特産物を案外知らない。15分間丁寧に歴史や栄養価を伝えてもらい、子供が植えて食べる食育をしていることは良いこと。
- ・赤米やこま亭のロールケーキを買いたいと思った。とても良い番組だと思うので続けて欲しい。
- ・映像が綺麗で大河ドラマかと思った。
- ・四日市市でもフィルムコミッションという映画やドラマの撮影場所を誘致しているが、景観がすばらしい場所がありうらやましいと思った。
- ・農家の方がインタビューに答えていたが、伝統もそうだが、まちづくりは人だと思う。率先して取り組む人がいて、周りの人が一緒に手伝って続けていくもの。そういう人をどうまちづくりに関わってもらうかも大事と番組を見て思った。
- ・味がどうなのか気になった。
- ・知りたい情報が網羅されていて、短い時間の中に良い情報が詰まっている番組だと思った。
- ・食べるシーンが、どんな味なのか伝わるよう上手に撮影できていた。調理方法も普通のお米と混ぜて炊くというのも良くわかった。
- ・歴史の話もあり、学校の子供の教育にも伝えていきたい地元の取り組みとして学校授業でこの番組を流していても子供の心に残る番組だと思うのでシリーズ化して、四日市市なら萬古焼の取り組みなど同じテイストで沢山作って、子供たちに4Kの綺麗な映像で見せてあげられることで地元愛を深めることにつながるのでは。そういった活用ができると思える良い番組だった。
- ・ナレーションは教育的な観点でいえば、重厚感があって格調が高くよかったとも思えた。

- ・食に関するだけでなく歴史のことにも触れて、また小学生と一緒にやっているということがわかる良い番組だった。
- ・この活動をどのように広げていける可能性があるのがテレビ番組だと思うので、問い合わせ先を掲載することで効果がでるのでは。
- ・食べてみたいと思ったので、どこに問い合わせ、販売しているのか最後に出してもよい。宣伝にもなるのでは。

4) 報告

■コミュニティチャンネルの IP 放送について

NHK が、NHK 総合と E テレのネット配信を 4 月より開始すると発表したが、弊社も一昨年から準備しており、コミュニティチャンネルのネット配信を 4 月より開始するため準備中。開始されると弊社がスマホ・タブレット向けに提供しているコネクトアプリ内でテレビ放送と同じものが見られる。併せて、見逃し配信も対応予定。

サービスは、加入者向けの CTY-ID をアプリに登録することによって、いつでも動画配信を視聴できる仕組みを計画していて、今後様々なサービス展開を検討していく予定。

■CTY 開局 30 周年の取り組み

開局記念日の 1/31 には、特別番組として、CTY と地域の 30 年を振り返る番組を放送。

現在、コネクトアプリで見逃し配信をしている。

継続企画として、ケーブル News 内では今月より月 1 回「このまち 30 年」というコーナーを設け、風景や建物・人物など 30 年前と今を比較する企画を、シリーズで放送していく。

10 月 24・25 日には、お客様還元を目的とした 30 周年記念イベントを開催予定。

三重国体のプレイベントとも位置づけ、四日市ドームを中心に、周辺の野球場やテニスコートを会場に開催予定。

次回の番組審議会は、2020 年 9 月もしくは 10 月の実施を予定。

※議事が全て終了した為、閉会。